

# 学びに向う意欲を育む

— 稔ヶ丘高校の実践を支える方法論 —

山崎 茂雄\* 国語科

東京都立稔ヶ丘高等学校 学校心理士 上級教育カウンセラー\*

キーワード：学習スキル 人間関係スキル キャリア教育

本稿は、日本教育新聞に平成23年9月から平成24年2月まで連載したものです。  
雰囲気伝えるため、紙面のコピーを用いて構成しました。

回	掲載日	シリーズ	タイトル
1	2011. 9. 5	はじまり	不登校経験者らの思いに応える学校
2	2011. 9. 12	人間関係スキル①	「認知」を柔軟にする
3	2011. 9. 19	人間関係スキル②	会話を楽しむ方法
4	2011. 9. 26	人間関係スキル③	主張し理解しあう
5	2011. 10. 3	人間関係スキル④	心身の緊張を解く
6	2011. 10. 10	学習スキル①	四つの学習観を養う
7	2011. 10. 17	学習スキル②	授業ですぐ役立つ技術
8	2011. 10. 24	学習スキル③	理解力を高める学習法
9	2011. 11. 7	学習スキル④	「やる気」を高める
10	2011. 11. 14	キャリア教育①	自他発見から始まる
11	2011. 11. 21	キャリア教育②	「目標実現シート」活用
12	2011. 11. 28	キャリア教育③	職業・上級学校の理解
13	2011. 12. 5	キャリア教育④	将来設計を立てる
14	2011. 12. 12	授業展開の工夫①	1枚ずつ配るシート
15	2011. 12. 19	授業展開の工夫②	発散思考と収束思考
16	2011. 1. 9	授業展開の工夫③	ペーパースピーチ
17	2012. 1. 16	教員集団の力①	稔ヶ丘の学力向上戦略
18	2012. 1. 23	教員集団の力②	元気の出る校内研修会
19	2012. 2. 6	私を支える技法①	自律訓練法
20	2012. 2. 13	私を支える技法②	KJ法による自他発見
21	2012. 2. 20	私を支える技法③	親業・教師学
22	2012. 2. 27	まとめ	「わかる」「できる」喜びに目覚める

— 連載を終えて —

毎週1回6ヶ月という連載のお話をいただいたとき、果たして書き続けられるかと不安な気持ちもありました。しかし、多忙な仕事の合間でこの原稿のためにパソコンに向うのは、毎回ワクワクする楽しい作業でした。コピーングや産社の授業の考え方、稔ヶ丘の学校づくりに取り組む思い、そして新採教員としての挫折から私を成長させてくれた技法についても、書きたかったことをすべて書くことができ、とても満足しています。私なりに学び、実践し、創り上げてきた方法論が、皆さまの教育実践のために、わずかでもヒントになれば幸いです。

貴重な連載の機会を作っていただき、長い間編集担当としてお世話いただいた日本教育新聞社編集局の長木智子さんには、たいへん感謝しています。

またいつも理解し、応援してくれる徳田校長先生、中、佐瀬両副校長先生を始め、生徒たちのために日々ともに取組んでいる稔ヶ丘高校の先生方に、心からお礼を申し上げたいと思います。

山崎茂雄

日本教育新聞  
平成23年(2011年)10月3日(月曜日)

Books

学事出版  
2730円  
03・3225・5471

中学・高校で使える  
ストレスマネジメントで不登校生徒も変わる!  
**人間関係スキルアップワークシート**  
早稲田大学人間科学学術院の嶋田洋徳教授が開発したストレスマネジメント教育のプログラムを、同学術院の菅野純教授や都立稔ヶ丘高校のスタッフとの共同作業で、独自科目「コピーング・リレーションタイム」に発展させた。認知行動療法に基づき、①認知、②行動、③情動の三つの単元を柱とする。①認知の単元では、出来事に対する受け止め方(認知)を柔軟

**中学高校で使える 人間関係スキルアップワークシート**  
嶋田 洋徳・坂井 秀敏  
菅野 純・山崎 茂雄 著

追伸

左の書評は、志を同じくする若手、都立八王子拓真高校の新垣智史さんが、連載に合わせて寄稿してくれました。

そのご厚意に感謝すると共に、今後の活躍に大いに期待します。

「勁い心」養った高大連携指導

にし、②行動の単元では会話や自己主張などのスキルを練習し、③情動の単元では、心身をリラックスさせる技法を学ぶ。  
稔ヶ丘高校は、不登校などを経験した生徒を受け入れる三部制の昼夜間定時制高校だが、人間関係に不安を持つ生徒たちに、たくましく生きていく「勁い心」を養うため、このプログラムを導入したという。1年次の必修科目で、学級担任の先生方が授業を実施している。  
本書には、年間のワークシートが全て収録されており、各学校の実情に応じ必要な部分をコピーして使うことができる。心理学の専門的知識がなくても授業が実施できるように工夫がされている。  
教材中心の本だが、坂井前校長の稔ヶ丘高校開設時の苦労話、嶋田教授の理論的考察、山崎教授の現場のノウハウ、菅野教授の温かな解説と、読み物部分の内容も充実している。  
(新垣智史・東京都立八王子拓真高校教諭)